

---

Original Edition Episode3 : Time is the most important

伊勢雫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

シークレットゲーム：Original Edition  
Episodes：Time is the most important

### 【Nコード】

N5490Y

### 【作者名】

伊勢雫

### 【あらすじ】

見知らぬ建物に集められた13人のプレイヤー。銀色の首輪とPDA。それぞれ異なる解除条件。

せっかくの予定が台無しになり、怒りをぶちまけるのも仕方がない。悪い人をやっつけて改心させるのが己の正義。なのに、それが全く通用しない。

迫りくるタイムリミットに追われながら、1人のプレイヤーの物語

は奈落へと落ちていく。

この小説は自分のHPからの転載です。そっちに投稿した後、こちらには3日後に転載します。ご了承ください。

ただし、後書きとBETシステム、及び途中経過の報告は転載ではありません。

## 第1話 予定が未定に（前書き）

この作品はシークレットゲームのパロディです。元ネタを意識している部分があります。

当然のごとく残酷描写注意！

登場人物は全てオリジナルですが、この作品の為に作ったキャラではありません。ちょっとややこしいです。

ルールや首輪の解除条件は原作と同じです。

## 第1話 予定が未定に

「あれ？ おつかしいなあ。服を選ぼうと思ったのになあ。」

今日は恋人と遊園地でデートをする予定だったのに、気が付けば薄汚れた部屋に彼はいた。

名前はシム。普段は普通の高校生だが、いざという時には超人的なスーツを着用して戦っているのだ。

最も、現在は受験生なので両立がとて大変なのだが、独自の勉強方で何とかしている。

「きつと悪いヤツらがオレを連れ去ったんだな！ このやるーっ！」

だからこんな非日常的な事に巻き込まれても、あまり驚かすに対応できるのだ。ちょっと解釈は違うが。

「こんな所、とつとと脱出してやる！ 来い、オレの宇宙船！！」

なんと周りの確認よりも先に建物からの脱出を優先したとは。しかし、意味がなかった。

「じ、じゃあスーツ装着！！ これならどうだ！！」

今度は超人的な力で建物を破壊するつもりだ。しかし、これまた意味がなく何も起こらなかった。

「うわああ、どういう事だよー！？ もしかして携帯も無駄なんじゃない……！？」

混乱しつつもデータ用のバッグを調べようとしたのだが、何かが置かれていた事に気付いた。

「ん？　なんだコレ？　もしかしてス　ホ？」

これがきっかけで冷静になり、ようやく自分が置かれている状況を理解したようである。

何かとはPDAの事であり、ナンバーと現在時刻、そして下部にルール、地図、解除条件の項目が表示されている。

右上部分には言語を切り替えられる機能があり、初期設定は英語だ。恐らくは外国人が参加しているのだろう。

とはいえ、シムは地球出身ではない。かといって宇宙人でもない。

地球から遠く離れた銀河系の惑星に住んでおり、全部英語で通じるので何ら問題がない。

まずはルールを見てみた。

#### 【ルール1】

参加者には特別製の首輪が付けられている。

それぞれのPDAに書かれた状態で首輪のコネクタにPDAを読み込ませれば外す事ができる。

条件を満たさない状況でPDAを読み込ませると首輪が作動し、15秒間警告を発した後、建物の警備システムと連携して着用者を殺す。

一度作動した首輪を止める方法は存在しない。

#### 【ルール2】

参加者には1 - 9のルールが4つずつ教えられる。与えられる情報はルール1と2と、残りの3 - 9から2つずつ。

およそ5、6人でルールを持ち寄れば全てのルールが判明する。

【ルール3】

PDAは全部で13台存在する。13台にはそれぞれ異なる解除条件が書き込まれており、ゲーム開始時に参加者に1台ずつ配られている。

この時のPDAに書かれているものが、ルール1で言う条件にあたる。

他人のカードを奪っても良いが、そのカードに書かれた条件で首輪を外すのは不可能で、読み込ませると首輪が作動し着用者は死ぬ。あくまで初期に配布されたもので実行されなければならない。

【ルール8】

開始から6時間以内は全域を戦闘禁止エリアとする。違反した場合、首輪が作動する。正当防衛は除外。

「えっ、と？ これってハッキングだよな？」

どうも殺し合いを信じたくないらしく、顔をしかめながらも今度は地図を見てみた。

「うひゃー、広すぎ!!! 13人どうやって見つけるんだよ!？」

確かにそうだ、この建物は広すぎる。更には6階建てというからシヤレにならない。

そして最後に解除条件を見ようとしたのだが、外から足音が聞こえてきた。

「ん？ これは出会えるチャンスって事？」

誘拐犯だという可能性もあるので、足音が遠くなっていった時を見

計らって静かにドアを開けた。

(おお……っ!!)

後ろ姿なのだが、金髪でセミロングの女性を発見できた。

服装は割とゆったりしており、キャミソールが見えている。よく見れば胸も大きく、かなり魅力的である。

手がかりとしては首輪がある事。思えばシム自身の首にもひんやりとした物があり、ようやく彼は首輪の存在に気付いたようだ。

(はっ……何見とれてるんだオレは!! オレには大事な恋人がいるというのに!!)

だからシムは少し興奮して思わずドアを大きく開けてしまったので、女性に気付かれた。

「そのアンタ!! 今すぐ出てきなさい!!」

女性が振り返って大きな声で叫んだので、シムはその威圧感に負けて部屋を出た。もちろん、持ち物を持って。

「アンタ、まさかとは思うけど誘拐犯じゃないわよね?」

「ち、違う違うちがーう!!」

シムは全力で否定した後、自己紹介を始めた。

「えっとな、オレはシム! デートだから張り切っていたら突然誰かに襲われてさ……そんな感じの高校生さ!」

「ふーん。あたしの名前はリナリー・アル。9月から大学生……になる予定だったのよ。」

リナリーは話を続ける。

「それが戦争のせいで外国で避難生活をしているのよ。ここじゃ妖術も扱えないし、やんなっちゃうわ!」

はあ、とリナリーは溜め息をついた。

「やっぱり制限されてるって事か。」

「は？ どういう意味？」

「オレはさ、超人的な能力が使えなくてさ。きっとそういう類の物は制限されているんじゃないかって。」

「へえ……」

シムの考察にリナリーは少し驚いたが、感心はしなかった。そうだったのか、という納得と満足感があるのだろう。

「じゃあ、出口探しを手伝ってくんない？」

「出口……あっ、そうか!! そうだよな!! オレも探そうとしてたんだ!」

「どうせついさっき思い付いた癖に。調子を合わせないでくれない?」

「う……」

シムは自分の考えが読まれた事にショックを受けたが、すぐに立ち直った。

必ずや脱出手段が見つかるはずである。そう思った2人は行動を開始したのであった。

## 第1話 予定が未定に（後書き）

こうしてEP3が幕を開けました。シムは目覚めた後にあやうく脱出しようとしたのです。リナリーも。

さてはて、今回のテーマは時間です。恋愛もありますが、いかにせん片思いです。シムに恋人がいるので……。だから恋愛重視ではなく、時間重視です。結局また恋愛要素が薄まるという罫（おい

そんな事言ってもEP2だと恋愛なんて一切ありませんでしたから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5490y/>

---

シークレットゲーム : Original Edition Episode3 : Time is the most important

2011年12月9日01時10分発行